

## 令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ⑭安全対策・緊急時対応

- ◆ 学童保育に来る児童は、通学時や小学校の安全教育などを通して生活上必要となる安全に対する知識を得ています。しかし、学童保育ではそれが通用しない場合もあるため、学童で過ごすための安全教育をしなければならないと感じます。それに加え、日頃の施設設備や遊具の点検も改めて重要であると感じました。寺田先生の講話は、実体験に基づくエピソードを織り交ぜられていて、良い学びを得られたと思います。今後、危険箇所がないか確認し、日々点検を行いながら、児童にとってどのような伝え方が最善の安全教育となるのか考えていきたいと思っています。
- ◆ 今年秋田県内では予測できない災害が多く発生しました。下校時に大雨や強風の日があり、子どもたちが怖がる様子が見られ、私たち大人が冷静に声をかけ、見守らなければと思いました。問題が発生した時にはその都度子ども目線になり、一緒に解決策を考えていけたらと思います。子どもたちが安心して遊び学べるように日々の安全管理をしっかり行い、職員間で共有していきます。
- ◆ 安全点検などを行った時の自分の視点を振り返った際、子どもの目線で見たり、高いところから広く見たりということができていなかったと反省しました。今後は本科目で学んだ3つの眼を意識しながら、注意していきたいと思っています。また、子どもたちと過ごす中で危険予測できそうだけどできない場面も多々あるので、子ども自身が「危ないかな?」と感じて、回避していけるような言葉かけをしていきたいと思っています。
- ◆ 安全と緊急時の対応で今の職場で危ないと思うところがあれば、直していかなければならないと思いました。ヒヤリハットという言葉が放課後児童クラブで働いてから耳にするようになりました。「はっ」とした時に反省を活かして改善していきたいと思っています。緊急時に誰かがやってくれるではなく、みんなが対応していかないといけないので、共有していきたいです。
- ◆ 安全対策は、大人が管理監督するだけではなく、子ども自身が安全に自分の身を守れるよう力をつけさせるということも重要だと再確認できました。日常活動の中、また、全体で確認する機会も大切です。自分の身を守るということを意識した避難訓練になるよう工夫したいと思います。指示通りに動くだけでなく、自ら判断してみんなと一緒に行動していると感じられる訓練を目指したいです。